

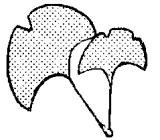
# 土浦平和の会

ニュースNO・37 1996年11月

発行 土浦平和の会  
事務局 土浦市神立町2664-2  
TEL 31-9122

## 耳をつんざく実弾砲撃演習 迷彩服にドーラン化粧の索敵行動

土浦平和の会会員  
ポップの会会員  
井上町子



11月12日、いばらきコープの平和グループ(ぼっぼの会)と一緒に、東富士に行って来ました。富士のすそ野の演習場というのだから、遥か遠くから豆粒のような兵隊の動きが見えるのかなと考えていましたが、とんでもありません。最初に案内されたのが105ミリ砲を積んだ戦車の実弾砲撃訓練です。基地にはいるとき監視所から「演習地に許可なく立ち入ることは禁止されています」という放送が流れます。案内の神谷さんは「私が許可します」というので、最初冗談かと思いましたが、神谷さんは御殿場平和委員会理事長・市会議員で、基地闘争の先頭に立ってきた方です。農民たちは、国を相手に「使用協定」をむすんでいます。基地の中の国道・県道(御殿場口登山道、須走口登山道、国道469号)は演習場区域外となっているのです。演習地の側まで行くと、自衛隊員が飛んできました。「退去」を命令されるのかと思ったら「これから6発発射するから、気をつけてください」と注意に来たのです。土浦の武器補給所前で写真を撮ったら、「ちょっときてくれ」といわれたのは大違いです。それだけの闘いの積み重ねを感じさせられました。県道のすぐ側で耳をつんざく砲撃の音が聞こえます。瞬間歯を食いしばらないではいられないほどの轟音です。戦車は1両4億円とか10億円、弾は1発5万円と聞かされて一同「もったいない」。自衛隊は国道も演習場として使用しています。469号を進んでいくと、道の両側にヘルメットに笹をつけ、顔にインディアンのような化粧をし迷彩服姿の自衛隊員が銃を構えたりバズーカ砲を担いで行進してくるのに出会いました。さながら戦場に迷い込んだような風景です。富士登山道でも人型の標的に向かって機関銃の砲撃をしていました。新5合目駐車場は立派に整備されていますが、じつは、自衛隊の駐車場を夏のシーズンだけ借りているのだそうです。この雄大ですばらしい風景が自衛隊の管理下にあり、沖縄の米軍海兵隊の演習にも提供されていると聞かされて、本当に残念に思いました。155ミリ溜弾砲が移転先も決まらないうちにここに来ているのです。

### 沖縄連帯意見広告にご協力ください

全県3000名、土浦60名目標です。現在約半分です。いま一回り大きく呼びかけて見ましょう。1名1000円です。沖縄の人たちの願いが叶えられるように声を広げていきましょう。

### 沖縄連帯署名にご協力ください

沖縄連帯署名の全県目標は50000名です。会員一人1枚(10名分)を目標に取り組んで見ましょう。職場でも、近所でも、沖縄の県民要求は解ってもらえるはずです。

### 行事ごよみ

- 11月17日 百里1坪地主会(旧射撃場山)
- 11月22日  
~24日 日本平和大会(横田基地周辺)
- 12月1日 県平和委員会理事会(水戸)
- 12月10日 土浦平和の会理事会(1中地区公)
- 1月11日 笠木 透コンサート(土浦市民会館)
- 1月25日 土浦平和の会新年会予定(場所検討中)

### 笠木 透コンサート

1月11日(土)13:00  
に家族みんなで行きましょう  
土浦市民の合唱団が笠木透と  
一緒に平和を求めるオリジナル  
曲を歌うファミリーコンサート